

英語科学習指導案

県立芦屋国際中等教育学校 非常勤嘱託員

北畑あゆみ

- 1、日時 2005年7月8日(金) 4時間目 (11:40-12:30)
- 2、場所 3号館大講義室
- 3、学級 第1学年Bグループ(男子2名、女子11名)
- 4、単元名 三省堂 NEW CROWN 1 LET'S TALK 3 コンピュータ室はどこですか?
(場所をたずねるとき)
- 5、使用教材 教科書 三省堂 NEW CROWN 1、英語授業研究サークル HP より、授業改善のための教材集 H16年度活動成果 プロダクション用コンテンツ「食事」
- 6、使用教具 プラズマ電子情報ボード
- 7、生徒所見 第1学年の初級クラスで、使える単語や文法は限られているが、積極的に授業を受けようとする姿勢が見られるクラスである。
- 8、単元目標 場所をたずねる時の表現と、それに答える時の表現を学ぶ。
- 9、本時の指導
 - (1) 題目 Where is～? を用いた文および、場所を表す副詞句 next to～、前置詞 on を用いた文。
 - (2) 目標 「聞くこと」、「話すこと」を中心とした授業を通して、場所をたずねる時の表現と答え方を実際に使えるようにする。また、既習の文法や単語を用いて、ある場面を英語で表現できるようにする。さらに、電子情報ボードの機能(教材提示、タッチパネル機能)を利用して説明とプロダクション活動を効果的に行う。

(3) 本時の展開

	授業のながれ	指導上の留意点および生徒の活動
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・絵の内容を覚える暗記ゲームをする 「食事」の絵を見て、その絵を既習の単語、文法を用いて表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気を和ませる。 ・This is～、That is～を用いた文、have を用いた文を使う。 ・三人称単数現在形の s は習っていないので、have はhasに変わることがあるということを少し教える。 ・What is～?の文を用いて、生徒の発言を促す。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を日本語で表現し、他に知っていれば役に立ちそうな表現方法を考えさせる。 ・where の使い方を確認する。 ・where、next to を用いた文の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～は～のとなりにあります、～が～の上にあります。」という表現に注目し、next to、on を用いた表現を教える。 ・発音に注意しながら一文ずつゆっくりと読む練習をする。 ・会話を意識し、質問に対してすぐに答えることができるようにする。 ・間違いを気にせず、積極的に発言させる。
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・where、next to、on を用いて、「食事」の絵をペアで表現させ、最後にクラス全体で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視をしながら、わからないところは指導し、自信をつけさせる。

授業後のアンケート

質問① **Where is~?** や、**next to**、**on** はよく理解することができましたか。それとも難しかったですか。

- ・やっぱり言葉の作り方がよくわかりませんでした。
 - ・ちょっと理解できていない。
 - ・理解することはできましたが、実際あまりよく覚えていません。どちらかという、普通に黒板に向かって勉強しているの方が良かったかもしれません。難しかったです。こういう授業の時は、もう少しゆっくりなペースで進んでもらえたら良いです。
 - ・少し授業の進み方が速かったので、少し難しかったです。
 - ・単語は、まあまあわかったけど、文法が難しかった。だからちょっとあんまり理解できていないと思う。
 - ・分かったんですが、その時の授業が速かったです。でも、使うのなら、すこし使いにくいかもです。
 - ・あんまり理解できなかったです。難しかったです。
 - ・あまり理解できなかった。進むのが速かった。
-
- ・理解できた。少し難しかった。**Next to** が分かりやすかった。
 - ・画像を使ってわかりやすかった。よく理解できた。
 - ・画像を使っていて、マンガ風になっていて興味を持ちながら勉強できた。
 - ・少し理解することができた。
 - ・いつもとは違いよく理解できたと思う。

質問② 知っている単語や文法を用いて、絵を英語で表現することができましたか。

- ・たまにどうやって表現したらいいのか、よくとまどったから、やりにくかったです。
 - ・あまりできなかった。でも簡単なのはできた。
 - ・まあまあできたと思う。単語をもっと覚えているんなら表現で使っていきたい。
 - ・できた。
 - ・まあまあです。でもやはり授業が速かったんで、とっさにはできませんでした。(そのとき)
-
- ・よくわかりました。たのしくて、おぼえやすい。でも表現するのは、よくわかりません。
 - ・すぐに表現する事は単語が頭に思い浮かばなかったもので、無理でしたが、まあまあ出来ました。
 - ・絵が分かりやすかったです。
 - ・実際に単語の映像が映し出されていて、よくわかった音声があればよかったです。
 - ・理解することができた。
 - ・だいたいできました。
 - ・できた
 - ・前にならった単語や文法が使えたので楽しかった。

質問③ 電子情報ボードに映し出された絵を見てどのように思いましたか。良かったと思うところ、こうして欲しかったと思うところを詳しく記入してください。

- ・いつもとちがってコンピューターのやつだったから、やりにくかったです。
 - ・最初の絵を始まる前にくばってほしかったです。
 - ・絵を見て思った事は特にはないです。
 - ・授業のペースがいつもより速かったので、頭に入りづらかったので、速すぎず、遅すぎない、いつものペースで進んでほしいです。
 - ・私達も画面をさわって授業をしたいです。
 - ・絵にかかっているものの上に単語をかいてもらえばもっとよかったと思う。
 - ・音声がでていれば良かった。
 - ・もっとアニメーションをつけて授業を受けたいです。
 - ・ノートの書き写しがしにくかった。
 - ・いっきにいくつもの単語がでてきてすぐに内容の方に入ると、ノートに写す時間がなくて困りました。
-
- ・画像がきれいだった。
 - ・とても見やすい絵だと思った。
 - ・たのしくて意味がよくわかりました。絵の中の父母や兄弟は誰かちょっとわかりませんでした。
 - ・絵とか文字がでてきたりして、いつもより時間をたしゅくしたので、その分、たくさん勉強できたのが良かったです。
 - ・実際に絵を見て授業が出来たので、イメージもつきやすかったです。(普通の授業だと、イメージがつきにくい分とかがあるけれど。)
 - ・絵が分かりやすかったです。
 - ・すごくわかりやすい絵だと思った。
 - ・絵を見て思ったことはない。でも電子情報ボードがあつて良かった。分かりやすかった。理由は、先生が書き込んでくれたり、大きかったからだ。
 - ・おもしろい。わかりやすかった。
 - ・実際に単語の映像が映し出されていて、よく分かった。
 - ・みやすかったです。
 - ・電子情報ボードで授業してみて、すごくわかりやすかったです。画面が大きくて見やすかった。スクリーンだとぶれたりするので、とても見やすかったと思います。

質問④ また電子情報ボードを用いた授業を受けたいと思いますか。「はい」か「いいえ」と、その理由を記入してください。

「はい」(13名中12名)

- ・受けたいです。たのしくて、おもしろくて、わかりやすいです。
- ・いつもとちがった勉強でたのしかったです。部屋をもうちょっと明るくしてほしいです。
- ・普通の学校では、なかなか出来ない授業なので、この電子情報ボードを活かして、より多くの単語を学びたいです。
- ・たまにそういう風な授業をするとなんかはりきるし、絵を使って授業をするのはいい事だと思ったのでまたやりたいです。
- ・とても楽しかった。
- ・わかりやすかったから。
- ・おもしろいし、わかりやすいから。
- ・いつも黒板の授業なので、たまには、電子情報ボードで授業を受けたいと思ったから。
- ・画面が大きいから見えやすい。
- ・いつもとちがいことができおもしろかったから。

「いいえ」(13名中1名)

- ・わかりにくかったから。

授業の感想

授業の内容が「分かりにくかった」という意見が多数あった一方、大多数の生徒がまた電子情報ボードを用いた授業を受けたいと思っているのは、授業の進め方さえ工夫すれば、情報機器や絵を用いることで、分かりやすく楽しい、理想的な英語の授業が可能になるということを示しているのではないかと考えています。

今回の授業が生徒にとって分かりにくかった理由は、①授業のスピードが速すぎ、文法を理解できなかった、②ノートを書く時間がとれなかった、③知らない単語が多かった、の3点でした。①、②のスピードが速かったというのは、文法の説明の時間をもっととるべきであったと思っています。特に、まとめの時間が2分しかなかったのは、導入の暗記ゲームで時間を取りすぎたことも大きな原因でした。さらに、慣れない電子情報ボードを用いての授業とビデオ録画で、私自身が緊張してしまい、それが生徒にも伝わっていたのも授業が分かりにくかった原因であると思います。

次に③の単語の問題ですが、これは、英語を学習し始めたばかりの初級レベルの生徒には大きな問題であったように思います。このクラスの生徒は、教科書に出てくる単語のみを学習しているので、今回用いた授業改善のための教材集 H16年度活動成果 プロダクション用コンテンツ「食事」では、**clock**、**glass**、**salad**、**juice**、**TV** など、単語のほとんどが新出単語でした。そこで生徒は単語と文法の両方にエネルギーを使わなければならない、「難しい」と思ったのではないかと思います。また、文法面では、**she** や **he** などの代名詞、一般動詞の三人称単数現在形や、**There is** ～ の文、さらに主語が複数の場合の **be** 動詞などもまだ習っていないため、絵を英語で表現する時に混乱したのではないかと考えられます。

以上のように、1枚の絵を使ってどのように授業をするか、私自身がもっと工夫、改善しなければならなかった点がたくさんありましたが、生徒の英語力や理解力に合った授業をすることができていれば、情報機器や絵を用いた授業の効果が最大限に得られていたのではないかと思います。今後は、幸いまたこのような授業を受けてみたいという生徒が多いので、さらに研究を重ね、より良い授業ができるようになれば、と思っています。

平成17年7月21日

北畑あゆみ